

L A A 3 会場

スマホでリアル応札

シテイルライトが業界初

シテイルライト(丸山明社長、岡山市)は、同社が運営する中古車オークション(AA)のLAA3会場(岡山、四国、関西)でスマートフォン(高機能携帯電話、スマホ)からのリアルタイム応札サービスを開始する。AA業界初の試みで、外部応札環境を拡大し会員利便向上を図る。同社は11月18日、業界に先がけてチャレンジオークション(流れ車両の再競りネットオークション)を開始するなど、高付加価値サービスを拡大し、出品店、落札店の双方への利用メリットを高めている。スマホからのリアル応札においても業界をリードする格好となり、国内AA市場における存在感を高める。

同社は6日から運用を開始し、LAA関西会場で申し込みをスタートする。会場内特設ブースでは、同サービスのデモンストレーションなども

行う。システム開発・運営を手がけるレイシスソフトウェアアーサビス(小野逸二社長、大阪市西区)のリアル応札アプリケーション(アプリ

「iPhone5」での画面イメージ



リ)「リアル・カー・オークション」を導入するもので、

サービス開始当初は米アップル社製のスマホ「iPhone」(アイフォン)やタブレット端末「iPad」(アイパッド)などに対応する。アンドロイド版アプリも20

上につなげる。

同サービスは、LAA会員対象で、月会費は3150円(税込み)、落札手数料は1万3650円(同)とする。LAA3会場に対応し、「参加(応札)」と「観戦」の2モードを切り替え可能。13年

13年3月頃リリース予定。スマホやタブレット端末の利便性を生かし、AAへの参加チャンスを広げ、成約率向

3月をめどに、下見検索と相場検索、不在入札の機能を付加する予定。アプリは「App Store」で無料ダウンロードできる。

同社は13年3月末まで、月会費無料となる期間限定キャンペーンを実施する。